ユニバーサルライニングゲージ MS-1500 取扱説明書

使用方法：

概　　要：まず最初に、自動調整式ライニングを分解する前に、この MS-1500 でライニングの外径寸法を計測しておき、その値で分解整備後再度ライニングを組み立てた時の外径の基準にします。（本体は、ホーシングの外径に当てて組み付ける）

手　　順：①まず、ライニング分解前にこのゲージをセットします。Ｂの本体固定増締めノブを全開しておき、Ｅのゲージ上下固定ノブを一番高い所へ合わせ、それから本体下をホーシングに軽くぶつけて、Ａの本体固定ノブで固定します。（図 1.）その後、Ｂを少し締め込みゆっくりと本体が回転できる所で止めておきます。（図 2.）

②Ｄのゲージ左右固定ノブで横ゲージ棒の先端をライニングのセンターへ合わせ、Ｅのゲージ上下固定ノブでライニングの表面に軽く当て固定します。（図 3.）

（図１）　（図２）　（図３）　（図４）

その後、ゆっくりとライニングの外周に沿ってゲージ固定台を一番高い位置に合わせてから、その位置をスケールで計測し、その値をメモしておきます。もし、ゲージ固定台が高すぎてスケールが届かない時は、スケール固定ノブでスケールを上限にぶつけて測ります。（スケールを上限か下限にぶつけてそこを基準にして計測します）

注意：①軽量化、シンプル化を最優先で設計してありますので、取り扱いに十分気をつけてご使下さい。

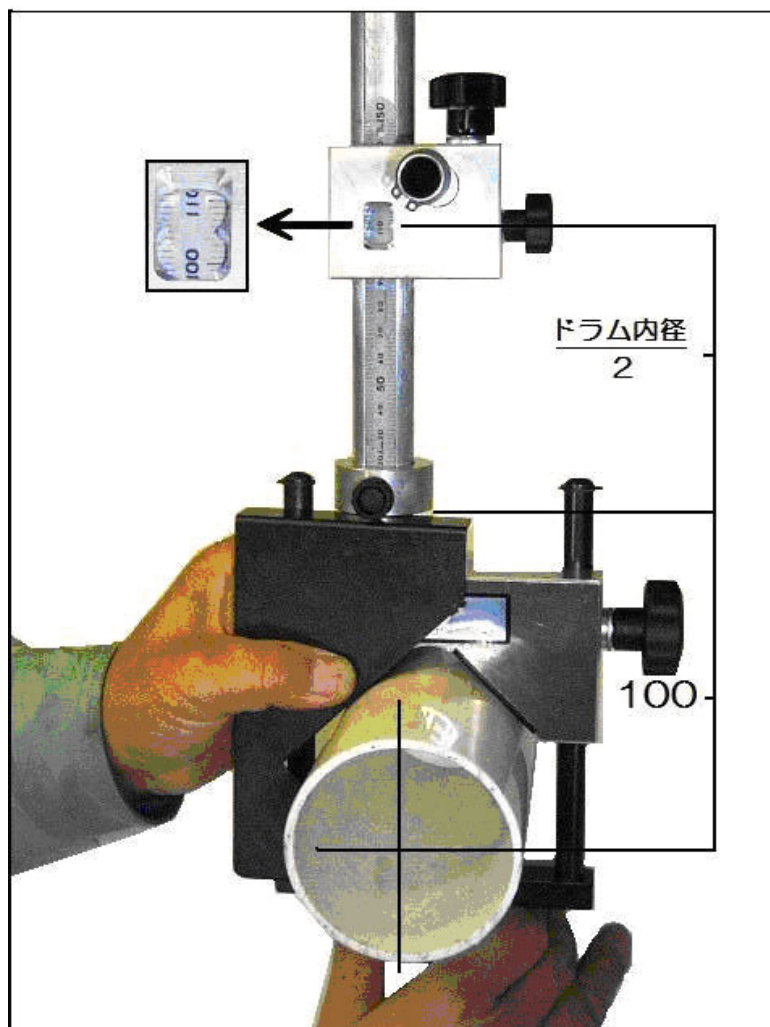
②横ゲージ棒がゲージ固定台に食い込んでしまった時は、木ハンマー等で軽く叩いて出してください。

ご使用後は、必ず、キレイに清掃して、防錆油をつけて保管して下さい。

株式会社ハスコー

ユニバーサルライニングゲージ MS-1500 取扱説明書(補完)

本来このゲージは、ライニング分解前にその外径寸法を記録しておく為の計測器ですが、万が一計測せずに分解してしまった場合には、下記の要領に基づいて、メーカーの基準値にライニング外径を、合わせることができます。

まず、図５のように、センター出しアタッチメントを使用して、ホーシングのセンターを出します。その後、スケール固定ノブを緩めて、スケール固定リングの底にそのセンター出しアタッチメントの上面を水平に当てがって、その位置で固定リングを固定します。
これで、ホーシングのセンターからスケール固定リングの底までが、100㎜ の寸法になっています。
その後、ゲージ固定台の窓より、その車のドラム内径の１／２になるような寸法に合わせ、ゲージ固定台をＥのゲージ上下固定ノブで、固定します。

国産メーカーの４ｔ車～大型車のフロント・リヤのドラムブレーキの内径は、410㎜･370㎜･320㎜となっております。(詳しくは、メーカーの整備要領書を参照して下さい。)
上記の直径の１／２が半径となりますので、その値より少し小さめの値で合わせると良いでしょう。

株式会社ハスコー